双葉東小学校だより

令和６年　６月１７日　文責　学校長　窪田　正幸

第1回学校運営協議会

甲斐市内の全ての小中学校が，今年度より学校運営協議会制度を取り入れた学校運営を行う〈コミュニティ・スクール〉となりました。コミュニティ・スクールの概要につきましては，４月に行われたPTA総会の中でも説明させていただきました。一言で言えば，「地域と共にある学校づくり」の具体的な姿として，「保護者・地域住民と教職員で構成された学校運営協議会において，校長が示す学校経営方針の承認や評価を行うことを通して，保護者・住民等が学校運営に参加する仕組みをもつ学校」ということになります。今年度は立ち上げ１年目なので，お互いが学校運営協議会への理解を深めるとともに，実際の活動を通して，双葉東小らしいコミュニティ・スクールについて考えていく道筋をつけることに重点をおいていきたいと考えています。

５月３１日（金）に，第１回目の学校運営協議会が開催されました。学校より，今年度の学校経営方針や学校組織，学校予算や設備に関する要望等について説明をさせていただき，委員の皆様方よりご承認をいただきました。第２回目の協議会では，児童の活動の様子を参観していただきながら，より具体的な成果や課題，取組の方向性等についても熟議するとともに，保護者・地域が参画する〈地域学校協働活動〉も視野に入れて協議をしていきたいと思います。

本の読み聞かせボランティア

双葉東小では，毎年読み聞かせボランティアの方々に，本の読み聞かせをしていただいています。朝の１５分間の活動ですが，読書への関心を高めるとともに豊かな心を育んでいこうという目的のもとにご協力をいただいていて，子どもたちが楽しみにしている活動でもあります。

〈心の教育〉を重視していることは，本校の特色の一つです。今後も多くの方々にご協力いただければ幸いです。ご興味のある方，様子を聞いてみたい方などがいらっしゃいましたら，お気軽に学校にご連絡ください。(0551-28-2014)

これも，コミュニティ・スクールにおける「地域学校協働活動」のひとつとなります。

甲斐っ子の宝　～心を磨く清掃活動～

日本の学校で毎日のように行われる「児童による学校清掃」は，長年実践され，日本文化に深く浸透しています。もちろん，他国でも同様な取組をしている国はありますが，「綺麗にする」という目的以外に，教育的効果をも求めている国は少ないようです。いわゆる，掃除を通じた「モラル・人格教育」です。海外で行われるスポーツの試合後に，日本人観客が会場のゴミ拾いをしている姿が，海外メディアで称賛されているところをご覧になった方もいらっしゃることでしょう。また，東日本大震災の後には，大きな混乱の中でも冷静で，他者のことを考えて行動していた東北の方々のモラルの高さが，世界中を驚かせました。

甲斐市では，基本的生活習慣の確立や規範意識の向上を図ることを目的に「甲斐っ子の宝」に取り組んでいます。その一つに，〈心を磨く清掃活動〉があります。日々の清掃活動を通じて，使っている場所を綺麗にするとともに，心も磨いていくことをめざしています。本校でも，日々の清掃活動を，児童会活動〈お掃除レベルアップ〉運動と併せ，児童の主体的な活動となるよう取り組んでいます。

全校で取り組んだ除草作業